

四半期報告書

(第34期第3四半期)

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス

四 半 期 報 告 書

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

目 次

	頁
【表紙】	
第一部 【企業情報】	1
第1 【企業の概況】	1
1 【主要な経営指標等の推移】	1
2 【事業の内容】	1
第2 【事業の状況】	2
1 【事業等のリスク】	2
2 【経営上の重要な契約等】	2
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	2
第3 【提出会社の状況】	4
1 【株式等の状況】	4
2 【役員の状況】	5
第4 【経理の状況】	6
1 【四半期連結財務諸表】	7
2 【その他】	13
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	14

四半期レビュー報告書

確認書

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月12日
【四半期会計期間】	第34期第3四半期（自平成25年10月1日至平成25年12月31日）
【会社名】	株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス
【英訳名】	SQUARE ENIX HOLDINGS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松田 洋祐
【本店の所在の場所】	東京都新宿区新宿六丁目27番30号
【電話番号】	03 (5292) 8100
【事務連絡者氏名】	最高財務責任者 渡邊 一治
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区新宿六丁目27番30号
【電話番号】	03 (5292) 8100
【事務連絡者氏名】	最高財務責任者 渡邊 一治
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第33期 第3四半期連結 累計期間	第34期 第3四半期連結 累計期間	第33期
会計期間	自 平成24年 4月1日 至 平成24年 12月31日	自 平成25年 4月1日 至 平成25年 12月31日	自 平成24年 4月1日 至 平成25年 3月31日
売上高 (百万円)	102,794	102,473	147,981
経常損益 (△は損失) (百万円)	△4,201	9,991	△4,378
四半期(当期)純損益 (△は損失) (百万円)	△5,745	5,179	△13,714
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	△5,003	7,804	△11,881
純資産額 (百万円)	128,506	125,958	121,636
総資産額 (百万円)	207,411	211,056	202,509
1株当たり四半期(当期)純損益金額 (△は損失) (円)	△49.93	44.96	△119.19
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額 (円)	—	44.90	—
自己資本比率 (%)	61.2	59.0	59.3

回次	第33期 第3四半期連結 会計期間	第34期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成24年 10月1日 至 平成24年 12月31日	自 平成25年 10月1日 至 平成25年 12月31日
1株当たり四半期純損益金額 (△は損 失) (円)	△2.30	22.32

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 第33期第3四半期連結累計期間及び第33期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期(当期)純損失であるため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当社グループは、報告セグメントをデジタルエンタテインメント事業、アミューズメント事業、出版事業、及びライツ・プロパティ等事業と定め、各々のセグメントにおいて、環境変化に対応した事業基盤の強化と収益力の向上に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は102,473百万円(前年同期比0.3%減)、営業利益は7,815百万円(前年同期は、4,853百万円の営業損失)、経常利益は9,991百万円(前年同期は、4,201百万円の経常損失)となりました。

なお、第2四半期連結累計期間までの間に、アミューズメント店舗閉鎖による受取補償金約3.5億円を特別利益として計上したことや、開発中のゲームタイトルについて見直しを行い、コンテンツ評価損約17億円を特別損失として計上したことを主要因として、当第3四半期連結累計期間の四半期純利益は、5,179百万円(前年同期は、5,745百万円の四半期純損失)となりました。

当第3四半期連結累計期間の報告セグメント別の状況は次のとおりであります。

①デジタルエンタテインメント事業

ゲームを中心とするデジタルエンタテインメントコンテンツの企画、開発、販売及び運営を行っております。デジタルエンタテインメントコンテンツは、顧客のライフスタイルにあわせて、家庭用ゲーム機(携帯ゲーム機含む)、PC、スマートフォン等、多様な利用環境に対応しています。

当第3四半期連結累計期間は、北米での家庭用ゲーム機向けソフトウェアのディストリビューション販売が好調であった他、8月に運営を開始した多人数参加型オンラインロールプレイングゲーム「ファイナルファンタジーXIV：新生エオルゼア」のソフトウェア販売が好調に推移し、運営も順調に推移しております。

また、スマートデバイス・PCブラウザ等をプラットフォームとしたコンテンツにおいては、ブラウザゲーム「戦国IXA(イクサ)」が引き続き堅調に推移する他、スマートフォン向けゲーム「拡散性ミリオンアーサー」は、PlayStation Vita版へのプラットフォームの拡大に加えて、韓国に続き、台湾・中国本土でもヒットするなど、順調に推移しております。

当事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は56,552百万円(前年同期比2.2%減)となり、営業利益は6,796百万円(前年同期は、392百万円の営業損失)となりました。

②アミューズメント事業

アミューズメント施設の運営、並びにアミューズメント施設向けの業務用ゲーム機器・関連商製品の企画、開発及び販売を当セグメントに計上しております。

当第3四半期連結累計期間は、8月に発売した「ロードオブ ヴァーミリオンⅢ」、11月に発売した「グローヴ コースター(アーケード版)」等アミューズメント機器の販売が好調に推移した他、アミューズメント施設運営も効率的な店舗運営に努め、堅調に推移しております。

当事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は36,163百万円(前年同期比7.0%増)となり、営業利益は4,388百万円(前年同期は、316百万円の営業損失)となりました。

③出版事業

コミック単行本、ゲームガイドブック、定期刊行誌等の出版を行っております。

当第3四半期連結累計期間は、一部人気タイトルの新刊が減少したこと等により、前年同期と比較してコミックなどの売上が減少しました。

当事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は7,549百万円(前年同期比13.9%減)となり、営業利益は1,665百万円(前年同期比18.5%減)となりました。

④ライツ・プロパティ等事業

主として当社グループのコンテンツに関する二次的著作物の企画・制作・販売及びライセンス許諾を行っております。

当第3四半期連結累計期間は、引き続き、自社コンテンツのキャラクターグッズ、サウンドトラック等の販売・許諾を行うとともに、他社の有力コンテンツのキャラクターグッズ化による品揃えの強化や海外展開による収益機会の多様化に努めております。

当事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は2,682百万円(前年同期比10.7%増)となり、営業利益は642百万円(前年同期比70.4%増)となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1,668百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	440,000,000
計	440,000,000

②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月12日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	115,549,896	115,549,896	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	115,549,896	115,549,896	—	—

(注) 提出日現在の発行数には、平成26年2月1日からこの四半期報告書提出日までのストックオプション(新株予約権)及び2015年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の権利行使により発行されたものは含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(百万円)	資本金残高(百万円)	資本準備金増減額(百万円)	資本準備金残高(百万円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	—	115,549,896	—	15,338	—	44,578

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 305,500	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 114,614,800	1,146,148	—
単元未満株式	普通株式 629,596	—	1 単元 (100株) 未満の株式
発行済株式総数	115,549,896	—	—
総株主の議決権	—	1,146,148	—

(注) 1. 「完全議決権株式 (その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,100株 (議決権の数11個) が含まれております。

2. 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式94株が含まれております。

② 【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合 (%)
株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス	東京都新宿区新宿 六丁目27番30号	305,500	—	305,500	0.26
計	—	305,500	—	305,500	0.26

(注) 上記のほか、株主名簿上は当社名義となっておりますが実質的に所有していない株式が100株 (議決権の数1個) あります。なお、当該株式数は上記①「発行済株式」の「完全議決権株式 (その他)」の欄の普通株式に含まれております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	100,418	102,300
受取手形及び売掛金	30,226	22,973
商品及び製品	2,376	2,511
仕掛品	47	67
原材料及び貯蔵品	357	466
コンテンツ制作勘定	15,805	26,848
その他	9,941	11,025
貸倒引当金	△136	△185
流動資産合計	159,035	166,008
固定資産		
有形固定資産	20,169	19,927
無形固定資産	10,940	12,189
投資その他の資産	※ 12,363	※ 12,930
固定資産合計	43,473	45,047
資産合計	202,509	211,056

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,653	10,130
短期借入金	5,726	6,950
未払法人税等	1,499	1,587
賞与引当金	966	673
返品調整引当金	4,319	3,418
店舗閉鎖損失引当金	256	147
資産除去債務	3	1
その他	15,989	18,290
流動負債合計	37,414	41,200
固定負債		
社債	35,000	35,000
退職給付引当金	4,714	4,824
役員退職慰労引当金	244	192
店舗閉鎖損失引当金	468	470
資産除去債務	800	809
その他	2,229	2,600
固定負債合計	43,457	43,897
負債合計	80,872	85,097
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,204	15,338
資本剰余金	44,444	44,578
利益剰余金	68,153	69,879
自己株式	△862	△867
株主資本合計	126,940	128,929
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57	325
為替換算調整勘定	△6,911	△4,671
その他の包括利益累計額合計	△6,853	△4,346
新株予約権	652	358
少数株主持分	897	1,015
純資産合計	121,636	125,958
負債純資産合計	202,509	211,056

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	102,794	102,473
売上原価	66,359	59,754
売上総利益	36,435	42,718
返品調整引当金戻入額	1,516	4,618
返品調整引当金繰入額	3,639	3,213
差引売上総利益	34,312	44,123
販売費及び一般管理費	39,165	36,308
営業利益又は営業損失(△)	△4,853	7,815
営業外収益		
受取利息	72	82
受取配当金	6	5
為替差益	620	2,072
雑収入	70	126
営業外収益合計	770	2,288
営業外費用		
支払利息	77	68
支払手数料	39	39
雑損失	2	3
営業外費用合計	118	111
経常利益又は経常損失(△)	△4,201	9,991
特別利益		
投資有価証券売却益	—	24
新株予約権戻入益	442	33
受取補償金	—	351
その他	13	2
特別利益合計	455	411
特別損失		
固定資産除却損	145	85
事業整理損	791	—
コンテンツ廃棄損	532	—
コンテンツ評価損	—	1,690
その他	121	93
特別損失合計	1,590	1,869
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益又は純損失(△)	△5,336	8,534
匿名組合損益分配額	0	13
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,337	8,521
法人税、住民税及び事業税	232	1,193
法人税等調整額	161	2,137
法人税等合計	394	3,331
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△5,731	5,190
少数株主利益	13	11
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,745	5,179

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△5,731	5,190
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△100	267
為替換算調整勘定	829	2,347
その他の包括利益合計	728	2,614
四半期包括利益	△5,003	7,804
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,045	7,686
少数株主に係る四半期包括利益	42	118

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

※ 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
投資その他の資産	631百万円	563百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	5,022百万円	4,629百万円

(株主資本等関係)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月18日 取締役会	普通株式	2,301	20	平成24年3月31日	平成24年6月5日	利益剰余金
平成24年11月6日 取締役会	普通株式	1,150	10	平成24年9月30日	平成24年12月5日	利益剰余金

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月17日 取締役会	普通株式	2,301	20	平成25年3月31日	平成25年6月4日	利益剰余金
平成25年11月6日 取締役会	普通株式	1,152	10	平成25年9月30日	平成25年12月5日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタルエン ターテイン メント 事業	アミューズ メント 事業	出版 事業	ライツ・プ ロパティ等 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	57,827	33,790	8,767	2,408	102,794	—	102,794
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	0	14	14	△14	—
計	57,827	33,790	8,767	2,423	102,809	△14	102,794
セグメント利益 又は損失(△)	△392	△316	2,042	376	1,710	△6,563	△4,853

(注) 1. セグメント利益の調整額△6,563百万円には、報告セグメントに帰属しない一般管理費△6,593百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタルエン ターテイン メント 事業	アミューズ メント 事業	出版 事業	ライツ・プ ロパティ等 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	56,545	36,163	7,351	2,411	102,473	—	102,473
セグメント間の内部売 上高又は振替高	6	—	197	270	474	△474	—
計	56,552	36,163	7,549	2,682	102,947	△474	102,473
セグメント利益	6,796	4,388	1,665	642	13,492	△5,677	7,815

(注) 1. セグメント利益の調整額△5,677百万円には、報告セグメントに帰属しない一般管理費△5,702百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純損益金額(△は損失)	△49円93銭	44円96銭
(算定上の基礎)		
四半期純損益金額(△は損失)(百万円)	△5,745	5,179
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純損益金額(△は損失) (百万円)	△5,745	5,179
普通株式の期中平均株式数(千株)	115,069	115,186
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	—	44円90銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	—	173
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年11月6日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額・・・1,152百万円

(ロ) 1株当たりの金額・・・10円

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・平成25年12月5日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

平成26年2月12日

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 長 坂 隆 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 横 内 龍 也 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 金 野 広 義 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月12日
【会社名】	株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス
【英訳名】	SQUARE ENIX HOLDINGS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松田 洋祐
【最高財務責任者の役職氏名】	最高財務責任者 渡邊 一治
【本店の所在の場所】	東京都新宿区新宿六丁目27番30号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長松田洋祐及び当社最高財務責任者渡邊一治は、当社の第34期第3四半期（自平成25年10月1日至平成25年12月31日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。